

Musse 「ミュッセ」を通して見えてくる楽譜の今、そしてこれから ミュッセ楽譜オンデマンドサービス

「楽譜オンデマンド」と聞いてどういったサービスか想像つくでしょうか？
発想は実にシンプルです。自分の必要な曲を組み合わせた一冊が欲しい、という誰でも一度は思ったことがある願いを可能にするサービスです！

新しい楽譜の販売サービスが始まりました

インターネット上で一曲ずつ作品を選び、自由に組み合わせた冊子がお手元に届きます。昨年末に開始され現在曲数は約4000曲。これからどんどん追加するべく作業を行っています。このコーナーでは、ミュッセを通して出会った楽譜から見えてくる、音楽を支える大切な楽譜の役割や、音楽文化を脈々と継承してきた楽譜出版社の姿を綴っていこうと思います。

作品と演奏者をつなげるもう一つのあり方、「ミュッセ」

「楽譜」と言っても、そのあり方は様々ですよね。作曲家が生きていた時代に初版された楽譜、綿密な研究を重ねた末に編集された校訂楽譜、使いやすくとめられた楽譜。楽譜は製本、紙、表紙デザインなどすべての要素を絡み合わせて作品を映し出します。ミュッセは、明らかに今までの楽譜とは異なりますし、残念ながらそういった本来の楽譜の姿は消えてしまいます。しかし、多くの方が楽譜をより大事に思い、楽しく楽譜と付き合うきっかけを作るのが、ミュッセの目指すあり方。初めて名前を聞いた作曲家の作品をみてみたいけれど、注文するのがちょっと面倒、レッスンや練習の時だけ気軽に持ち歩きたい……。そんな時、ミュッセは活躍します。そして、とことんその作品と付き合いたくなり、ずしりと存在感のある楽譜を手にしたくなったら、ぜひ全集やお目当ての出版社から取寄せてみて下さい。ミュッセはあなたと楽譜の接点を作り出す場となります！

簡単、便利！

さて、今回は第1回です。ミュッセでどんなことができるの？！といったご紹介をしていきましょう。目的に合わせて自分だけの一冊ができるので、利用の仕方も無制限。例えば、ミュッセはレッスンや練習のノートとして最適です。いま練習している曲を集めて一冊にし、思う存分書き込みをしたい、違う版の楽譜と見比べたい、など曲作りのために使い込むことができます。講習会や演奏会にちょっと楽譜を持ち込みたいときも、ミュッセだったらノート感覚で持ち歩くことができます。



出版が難しかった楽譜もどんどん扱います

ミュッセは注文があったときだけ印刷をするので、出来るまでのコストはごくわずか。そこで可能になるのが、様々な方の作曲作品、編曲作品の販売です。現在活躍する作曲家の作品をどんどん追加し、ミュッセを通じて作曲や編曲をもっと身近に感じてもらうことを目指しています。

この夏には、ムジカ・ブダベスト社の新リスト全集、続いてブライトコフ社のスタンダードなレパートリーが一気に加えられ、その後もベータース社の楽譜を追加予定。一般的な古典〜ロマン曲はほぼ注文可能になります。ピティナ・ウェブサイト内の「ピティナ・ピアノ曲事典」で楽譜のあるものには「楽譜」マークを付けていますので、音源や解説と合わせて調べられます。ぜひ一度、ミュッセをお試し下さい。



➡ ミュッセ紹介サイト

多くの魅力的な楽譜をコラムを交えてご紹介！
www.piano.or.jp/enc/musse/index.html



➡ ミュッセ購入サイト

こちらが注文画面です
www.bookpark.ne.jp/ptna/index.asp

■価格

1ページ40円から。製本代250円と送料160円〜210円が加算されます。

■お支払方法

カード、代引き、銀行振り込み

■お届け

約1週間程度で配送します。